

他市の事例 I

豊田市浄水交流館（2016年開館）



浄水交流館、浄水中学校の複合施設

- ・ 学校に通う中学生と、交流館を利用する地域住民の連携や交流がしやすくなることにより、学校教育や生涯学習の充実を図る。
- ・ 災害時には、避難所になる中学校と防災対策地区活動の拠点となる交流館の一層の連携強化が可能となる。
- ・ 学校と交流館が施設の一部を共有することで、施設を有効利用ができる。

他市の事例2

秋田県由利本荘市文化交流館 カダーレ (2011年開館)

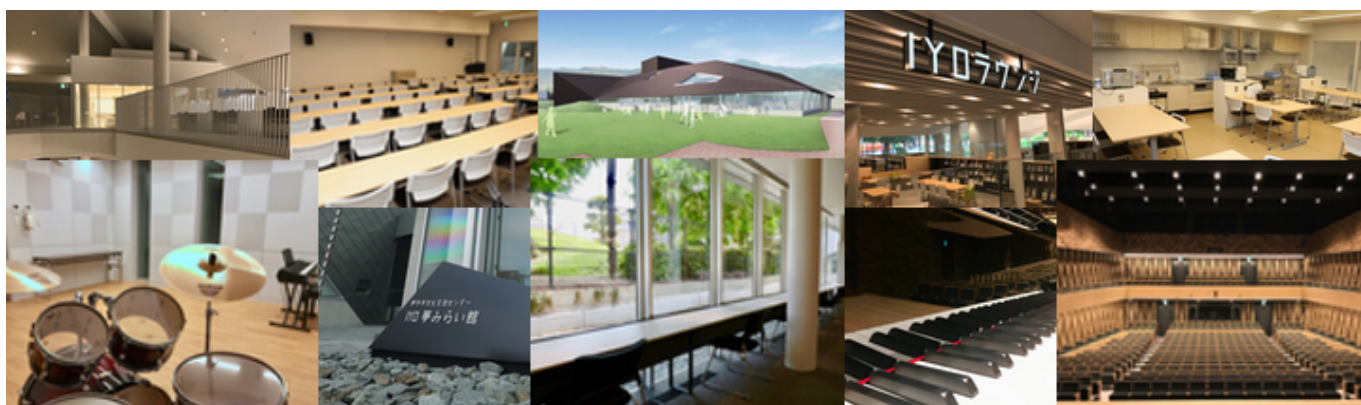


ホール、図書館、展示室、練習室、スタジオ、和室、茶室、調理実習室、自然科学学習室、中央公民館事務室、教育センター事務室の複合施設。

計画時から関わった市民が中心となって社団法人を立ち上げ、開館4年後から指定管理者として運営を行っている。(図書館、中央公民館事務所は直営)

他市の事例3

IYO夢みらい館 (伊予市文化交流センター) (2019年開館)



ホール、図書館、博物館(収蔵と企画展のみ)、地域交流機能の複合施設。

既に閉館した市民会館と、敷地にあった中央公民館・地区公民館・図書館の機能を複合した。

中央公民館機能は市役所に移し、より広域から、多くの人に利用してもらうため、「地域交流機能」へと役割を変えている。